



令和6年度のダム通砂運用の結果（速報）について御報告します

○令和6年度は、台風第10号出水時に山須原ダム、西郷ダム及び大内原ダムにおいて、ダムの操作規程（河川法）に基づいたダム通砂を実施しました。

○ダム通砂による効果・影響については、台風による出水後の測量調査等のデータを基に、現在、分析・評価を行っています。この結果は、次年度のダム通砂運用計画と併せて、6月頃に改めて御報告いたします。

■台風第10号でのダム通砂運用の概要

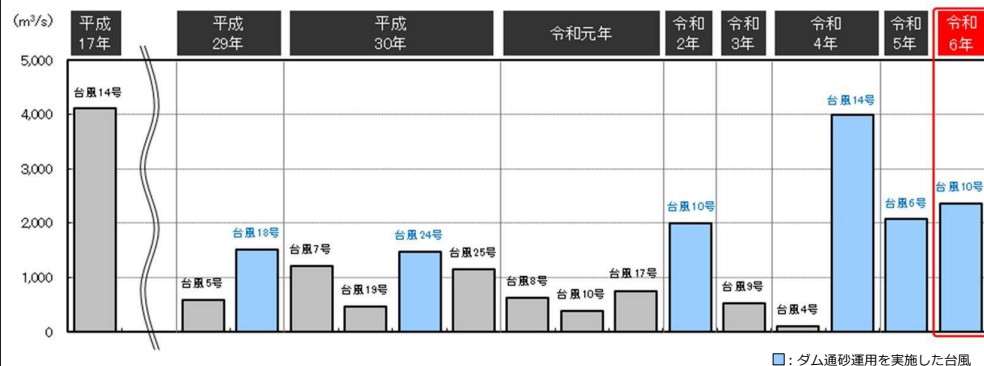
- ・ダム通砂期間：令和6年8月27日～8月31日
(台風最接近日時：8月29日10時頃)
- ・最大流入量：[山須原ダム] 2,400m³/s 程度
[西郷ダム] 2,600m³/s 程度
[大内原ダム] 3,000m³/s 程度

■大内原ダム事前水位低下状況



水位低下量
常時満水位より約-8.5m
美郷レイクランド（8/28 11:00）

■【参考】山須原ダム地点の流入量



■各ダムの放流状況



山須原ダム（台風最接近時から約1日後）



西郷ダム（台風最接近時から約1日後）



大内原ダム（台風最接近時から約1日後）

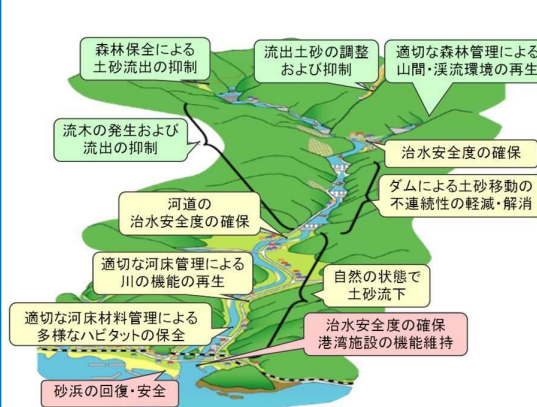
○ダム通砂運用の位置付け

ダム通砂運用は、平成17年台風第14号において、河川やダムに流入した土砂が浸水被害を拡大させたことを契機に宮崎県が制定した「耳川水系総合土砂管理計画」に基づいた取組の1つです。

【耳川水系総合土砂管理の「目標」】

「耳川をいい川にする。～森林とダムと川と海のつながり～」

■耳川水系のあるべき姿のイメージ



■主な役割分担

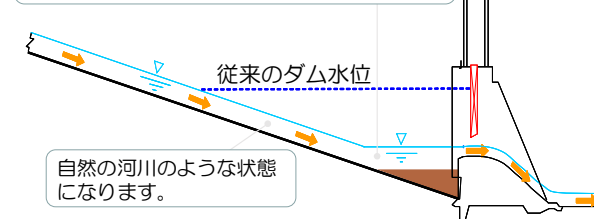
領域	主な取組み（事業）	担当
山地	○治山 ○砂防 ○森林整備 ○改良（林道網） ○造林	国 宮崎県 椎葉村 諸塚村 美郷町 日向市
ダム	○貯水池内（土砂移動、護岸補強、流木塵芥引上げ） ○ダム改造、 ダム通砂運用	九州電力
河道	○河川整備（土砂除去、築堤、宅地嵩上） ○魚類放流	宮崎県 椎葉村 諸塚村 美郷町 日向市
河口 海岸	○港湾維持（浚渫等） ○海岸漂着物等地域対策推進	宮崎県

○ダム通砂とは

台風による出水時にダムの水位を下げ、貯水池の水の流れを本来の川の状態に近づけることで、貯水池に流れ込む土砂をダム下流に通過させる取組みです。

【ダム通砂のイメージ】

ダム水位を下げることで、流速が増し、流入する土砂が下流に通過しやすくなります。



○ダム通砂を実施するダム

九州電力では、平成29年度から西郷ダム及び大内原ダムにてダム通砂運用を行っており、令和3年度より、山須原ダムを加えた3ダム連携でのダム通砂運用を実施しております。

